

平成30年度第3回白河市子ども・子育て会議 会議録

○日 時：平成31年2月18日（月）午後6時30分から

○場 所：白河市役所 地下第1・2会議室

○出席者：飯村庄后委員、鈴木順子委員、田中晋哉委員、樋口葉子委員（会長）
永野美代子委員、國井保子委員、渡邊むつ子委員（7名）

◇子ども・子育て会議

・協議

(1) 第2期白河市子ども・子育て計画策定に係るニーズ調査の集計結果について

事務局より、報告書（案）に基づき集計結果について説明。報告書（案）については、今後、文言の整理等を行う。

○委員：自由記入いただいた意見については、もったもである。中でも、保育園・幼稚園・放課後児童クラブは、市民の期待が大きいと思われる。平成31年度の放課後児童クラブの待機児童見込みについて教えてほしい。

⇒事務局：4月時点で待機児童の発生が見込まれるのは、白河第二小学校児童クラブ及びみさか小学校児童クラブで5～6年生の高学年である。

○委員：今年度から同一敷地に居住する祖父母は、年齢に係らず就労証明等が必要となった。昨年度までは65歳以上であれば不要であったが、例えば80歳であっても就労証明等が必要となると申込にくくなってしまわないか。

⇒事務局：待機児童が発生していることや、65歳以上であっても元気な方が多いことから、年齢制限を撤廃した。しかし、高齢で介護が必要な状態などであれば、従来どおり放課後児童クラブは利用可能である。

⇒委員：介護が必要な状態であることの証明は必要なのか。

⇒事務局：担当者の聞き取りにより、利用可能と判断する場合もある。

⇒委員：年齢制限を撤廃したことで、確認事務等も煩雑になるのではないか。

⇒事務局：年齢制限を撤廃したことで問合せは数件受けているが、トラブル等はなく、放課後児童クラブをより必要とする人が利用できるようになったと考えている。なお、待機児童については、施設の面積要件などの理由で利用できない状態となっている。

⇒委員：幼児教育・保育の無償化が進めば、共働き家庭が更に増え、将来的には放課後児童クラブという受け皿の重要性も増してくる。

○委員：幼稚園の給食提供について、速やかに実施してほしいという意見が多

くあったようだが、その理由まで書かれていた意見があれば紹介してほしい。保護者の負担感も分かるが、子どもにとっては、手作りのお弁当は楽しみなものでもある。

⇒事務局：理由まで書かれていた意見は多くなかったが、中には子どもの好き嫌い改善のためなどの理由を挙げているものもあった。

⇒委員：頻度については、毎日なのか、週1回程度の希望なのか。

⇒事務局：保育園の例になるが、現在、市内の保育園では、園にもよるが週1～2回程度、お弁当の日を設けている。

⇒委員：実際に、働きながらお弁当を作るのは週1回でも大変だという保護者の声を聞くことは多い。しかしながら、全部給食にしてしまうのは子どもにとっては寂しいこととも思われる。

○委員：アンケートの回収率が、やや低かったように思われる。また、回収率の学区別内訳が示されているが、学区ごとに同数を送付したものではないので、何かに用いる数字ではないという認識で良いか。

⇒事務局：対象者は地区によらずランダム抽出しているため、抽出者の学区別内訳の比率は、全児童数の学区別内訳の比率に近くなったものとは認識しているが、回収率の学区別内訳については、参考であって何かに用いる数字ではない。

○委員：就学前児童の問10-2や、小学生の問10で不明・無回答が多かったのは何故か。

⇒事務局：ここで言う無回答というのは、純粹に何も書かれていないということである。回答方法が丸をつけるだけの設問であれば無回答の割合は低くなるが、数字を記入いただく設問のため無回答が高くなったと考えられる。

(2) 認可保育施設の開設及び利用定員の設定について

・・・原案のとおり承認

事務局より、概要について説明。認可外保育施設であった託児所「ぴよぴよ」より、認可保育施設として運営していきたいとの申し出があったもので、設置基準を満たしている。

○委員：保育士1名というのは、園長自身のことか。

⇒事務局：そのとおりである。

⇒委員：保育士1名であると、具合が悪いときなどはどうするのか。

⇒事務局：市と契約をしており、市立保育園の一時預かりに斡旋する対応を行う。また、一時預かりが利用できない場合には、保育士資格をもつ方に預かっていただけるよう提携を結んでいただいている。

○委員：周知についてはパンフレットや募集要項で行われるのか。また、保育所を探している保護者にはいつから情報提供して良いのか。

⇒事務局：利用申込書や募集要項には認可保育所として記載するようになる。また、子育て支援ガイドブックほかにも掲載する。情報提供していただいて差しつかえない。実際に利用できるかは、入園調整の結果、優先順位の高い方となる。

○委員：年齢別内訳が1名ずつとなっているが、1歳児を2名、2歳児を1名預かるようなことはできないのか。

⇒事務局：状況に応じ、変更は可能である。

○委員：保育士1名で3名の子どもを預かったとき、万が一その保育士が突発的な急病にかかった場合などはどうするのか。調理員が1名いるようだが。

⇒事務局：調理員は同居しているため、申請上は保育士1名だが、他に誰も居ないというわけではない。

○委員：保育時間が7時45分からとなっているが、これは従来どおりか。

⇒事務局：従来どおりである。保育時間の設定は各園ごとに行っている。

⇒委員：市内の公立保育園は7時30分から、私立保育園は7時からという所もあるが、働いている方のニーズとしては、公立であっても7時から預かってほしいという方が多いのではないかと。次回のニーズ調査などで数字として希望を把握できると良いのではないかと。

○委員：保育士1名ということで、万一の事故が起きた場合、市がどのように責任を取るのかという話になると思われる。今後、市のフォローはどの程度あるのか。

⇒事務局：市や県の監査により、事故防止マニュアルや子どもの様子を見るチェックシートの整備など、運営状況のチェックを定期的に行っていく。園とのやり取りは、入園調整などを含めて密に行っていく。

⇒委員：大きな保育園であれば複数の保育士で複数の子を見ているのが実態ではあるが、国の設置基準は満たしているため、今後市が十分に管理を行っていくということであれば大丈夫ではないかと。

⇒会長：会議の中で出た意見を踏まえて事業を進めていただくとともに、意見を園にも伝えてほしい。

(3) 平成30年度実績値（見込み）について

事務局より、子どもの数、教育・保育給付及び地域子ども・子育て支援事業

の実績値（見込み）について説明。

（４）平成３１年度会議計画について

事務局より、平成３１年度の会議開催数、時期、内容について説明。

○委員：パブリックコメントについては、どのように行うのか。

⇒事務局：市ホームページ上で行う予定である。

⇒委員：計画策定の進行状況についても、ホームページ上で公表してほしい。

⇒事務局：会議結果等と併せて、公表していきたい。

・その他

事務局より、しらかわ病児保育室の開設について説明。白河厚生総合病院敷地内に平成３１年４月１日より開設予定。